

血液像				207000	
				担当部署	
ケツキゾウ				血液	
検査オーダー					
患者同意に関する要求事項		特記事項なし			
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*1.頻用→			
	2	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→血液学→			
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		薬剤（化学療法薬、クロラムフェニコール等）の影響を受ける。			
検査受付時間		8 : 15～16 : 00			
検体採取・搬送・保存					
患者の事前準備事項		特記事項なし			
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし			
検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	全血	1 紫	EDTA-2K	2	mL
2	全血	1 紫（マイクロテター）	EDTA-2K	0.5	mL
3					
4					
5					
6					
7					
8					
検体搬送条件		室温			
検体受入不可基準		1) 採取容器違いの検体 2) 凝固検体 3) 採血量過不足の検体 4) サンプルングできない検体			
保管検体の保存期間		室温・当日中（追加検査については、検査室に要問合せ）			
検査結果・報告					

検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部			
測定時間		1～2 日			
生物学的基準範囲		設定なし			
臨床判断値		好中球数：100/ μ L 以下			
基準値					単位
					なし
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし
パニック値	高値	パニック値ではないが、芽球が出現した場合には技術管理主体または技術管理主体代理の判断で主治医に連絡する。			
	低値	設定なし			
生理的変動要因		性差、年齢差も大きく変動する			
臨床的意義		血液像の検査は、血球数の異常がみられたときに行う不可欠の検査です。血液像を観察することによって、体の状態やどんな病気があるかをある程度知ることができ、ほとんどの血液疾患の手がかりを得ることができます。 EX 血液 201000-05：「患者さんに伝える臨床検査の説明マニュアル」392			